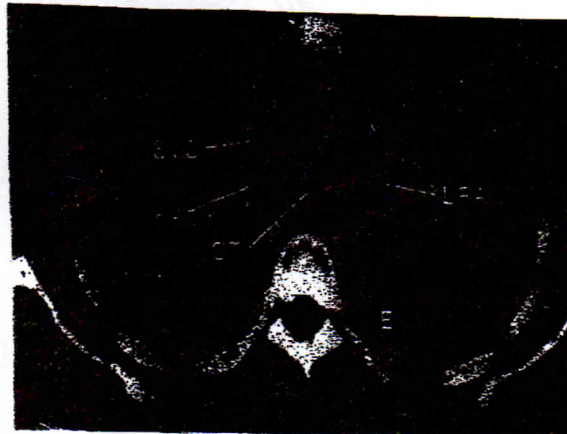


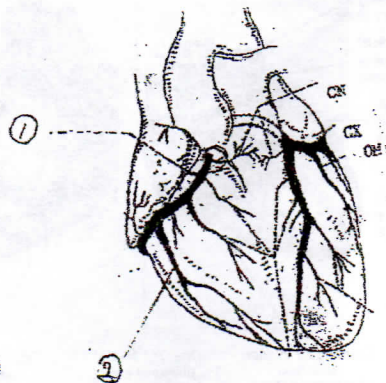
過去問抜粋 次のページ以降の範囲の過去問です。

1. 特殊心筋繊維の特徴は（筋原）繊維が乏しいことである。
2. 肉柱の中で、心室中隔から前乳頭筋に連続し右室を橋渡しする構造が（中隔縁柱）で、その表層を刺激伝導系の（右脚）が走る。
3. 9割の人では右冠状動脈から、刺激伝導系の結節に分布する（洞房結節）と（洞室結節）を分岐する。後者は右冠状動脈が後ろに回った後、後室間溝の近くである。
4. 上行大動脈から出る枝は、（右冠状動脈）と（左冠状動脈）であり、いずれも心臓に分布する。
5. 心臓の刺激伝導系において Koch の三角内にあるのが（房室結節）、中隔縁柱に沿って走るのは（右）脚である。
6. 奇静脈は（右主）気管支を乗り越えて、（上）大静脈に後方から注ぐ。
7. 気管は（食道）の前にある。
8. 心室中隔は膜性部と（筋）性部に分かれる。

9. SVC（上大静脈）
10. AV（房室結節動脈）
11. CT（気管分岐）
12. E（食道）
13. LPA（左肺動脈）



14. ①は（心房枝）であり、上大静脈の右心房開口部にある（洞房結節）に分布する。②は（鋭角枝）である。この2つの動脈は（右）冠状動脈からの分枝である。



15. 主に右冠状動脈から刺激伝導計に分布する枝が出るが、そのうち後室間溝の近傍で出る枝は（房室結節動脈）である。
16. 左気管支を乗り越えて背側に向かうのは上から（大動脈弓）、左（肺）動脈である。